

平成28年度事業報告

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人名古屋産業科学研究所

平成 28 年度事業報告

1 概 況

平成 28 年度は、3 月 20 日に逝去された内藤理事長の生前のご指導のもとで策定した当初計画に沿って展開し、ほぼ計画どおり実施した。特に広報面に注力し、財団パンフレットやホームページの全面改訂を実施し、より財団事業の活用促進に繋がるように努めた。

今後は、故内藤理事長がこれまで築いて来られた事業基盤を継承しつつ、新体制の下で新たな取り組みにもチャレンジしていきたい。

部門	事業区分	28 年度事業概況
研究部 (DOR)	公 1 (研究事業)	研究職員による自主研究や国庫補助金による委託研究、および知見交流活動など従来と同様に展開。ほぼ前年度並みの件数実施。
	収益事業 (受託研究)	企業からの委託に基づき、研究職員が研究を実施。前年度を若干上回る件数を確保。
中部ハテケセンター (CHC)	公 2 (人材育成事業)	従来の研修事業を継続展開。PR 強化に努め、前年度を上回る受講者数を確保。
	法人業務 (渉外、広報)	財団活動 PR 用のパンフレット、ホームページ全面刷新、メルマガ企画案を作成。
中部 TLO (CTLO)	公 1 (研究事業)	産学官連携支援として、サポイン事業等の公的資金活用プロジェクトや愛知県からの環境分野の委託事業に従来同様に取り組み。
	公 3 (技術移転事業)	大学の知財移転の取扱い件数が減少するなか、本年度は新規契約なし。既存契約案件の管理業務を実施。

平成 28 年度決算は、

当期経常増減額 ▲6,154 千円 (前年度▲19,884 千円) となった。

なお、公益財団法人としての基準である「収支相償」と「公益目的事業比率 50%以上」はともにクリアしている。

- ・ 収支相償 収入 (269,088 千円) < 支出 (269,972 千円)
- ・ 公益目的事業比率 68.1% (前年度 66.1%)

2 事業区分別状況

I 公益目的事業

◇研究事業（公1）

1. 研究推進事業

(1) 自主事業

① 研究事業 <附属資料1参照>

本研究所の研究職員が年度当初に設定した産業の科学技術に関する基礎的研究を、75件実施した。

(27年度実績:79件、29年度目標件数:87件)

② 研究会研究事業 <附属資料2参照>

上席研究員を主査又は研究代表者とする「研究会」を4件設置し、設立趣旨に沿った研究活動を推進した。また、研究成果はホームページにおいて公開した。

(27年度実績:3件、29年度目標件数:3件)

(2) 委託研究事業 <附属資料3参照>

国庫等補助金研究事業（科学研究費助成事業）

研究職員が国等の求める優先的な研究課題を設定して公募型競争的研究事業に応募し、公平な審査・採択を経て12件（分担者分2件含む）の研究を実施した。

(27年度実績:15件、29年度採択件数:12件)

2. 知見交流・発信事業

(1) 産業科学フォーラム <附属資料4参照>

時宜に適した産業の科学に関するテーマを選定し、フォーラムを3回開催し、上席研究員や大学教授5講師からの話題提供を基に活発な議論を行った。

(27年度実績:3回/5講師、29年度目標開催回数等:3回/5講師)

(2) 技術相談・指導

企業・団体等から個別に要請のあった技術相談や指導等11件に上席研究員を派遣して、企業等の抱える課題の解消や研究開発能力の向上に寄与した。

(27年度実績:12件、29年度目標件数:10件)

(3) 講師派遣

行政・企業等から依頼があった講演1件に上席研究員を派遣した。

(27年度実績:7件、29年度目標件数:2件)

(4) 科学技術の啓発活動

異分野の技術者・研究者や科学技術に関心の高い一般市民を対象として、上席研究員等が蓄積している豊富な知識・経験を社会に還元するための活動であるが、今年度は実施する機会はなかった。

(27年度実績:1件/4講師、29年度実施予定件数等:未定)

3. 産学官連携支援事業

産学官連携の研究を支援する事業を展開。国や県の施策を活用した事業展開のサポートや、コーディネータを活用したコンサルティング活動を実施。

(1) 国の公的資金プロジェクト

① 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）

< 附属資料 5 参照 >

(単位：千円)

年度	事業名	金額
27～29	コンポジット整形を高度化させた新たな広報開発の確立と、多層構造プラスチックの素材開発及び用途開発	25,992
27～29	複雑形状難めっき材料への六価クロムフリーメタライジング法の開発	16,141
28～30	SteelHeater 性能向上のための新規絶縁層形成技術の開発	41,283

② 地域中核企業創出・支援事業

炭素繊維複合材料（CFRP）の普及を目指す、「地域中核企業創出・支援事業」を経産局より受託。過去の「戦略分野コーディネータ事業」、「次世代自動車コーディネータ事業」で構築した研究者・企業ネットワークについて更に充実を図るべく活発に活動している。

(単位：千円)

年度	事業名	金額
28	炭素繊維複合材料等における国内サプライヤーチェーンの構築に関する支援事業	34,611

(2) 愛知県からの委託事業

「環境ビジネス事業化促進コンサルティング等事業」として平成 18 年以降継続して受託。職員を 4 名派遣。（委託収入 14,040 千円）

(3) その他

BIOCOM（米サンディエゴのバイオクラスター）との連携強化を中心に業務を拡大している。特に、ベンチャー技術の紹介業務（コンサルティング業務）は、順調に増加しており、日本の医療産業の活性化に貢献している。
平成 28 年度はコンサルティング対価として、3,600 千円の収入があった。

◇ 人材育成事業（公 2）

1. 人材育成・研修事業

平成 28 年度の研修者実績数は、合計 224 名であった。（前年対比 +64 名）
当年度は従来からの継続研修を推進しつつ、新規研修事業を模索する作業も進めた。

研修受講者実績推移表

(人)

	H27	H28	前年対比
あいち環境塾	20	20	固定
あいち環境塾 特別講座	37	37	(0)
技術経営(MOT)研修	45	49	(+4)
集合研修 計	102	106	+4
企業 A (材料力学)	—	37	—
企業 B (乾燥剤)	—	14	—
出張研修 計	0	51	+51
e ラーニング 単年度計	58	67	+9
合計	160	224	+64

(1) 集合研修

従来から行ってきた以下の集合研修は、いずれも前年度課題への事前の対策準備も功を奏してほぼ期待通りの成果を得た。

①あいち環境塾 <附属資料6参照>

共催：愛知県環境部（委託事業）

目的：将来の環境関連リーダーの育成と産学官のネットワーク形成

塾生：20名

講師：環境問題に関する著名人を幅広く招請、愛知県環境部と塾生をサポートする大学教授チューター陣で支援する体制。

実績：午前中は招聘講師の講義、午後は講師とのディスカッションとチーム別討論活動
期間は6月～11月（全12日間）、概ね2回/月開催。

最終日に副知事を迎え、県への「環境政策提言」としグループ別に成果発表。

更に、今年度10期目という節目を機に、今後の内容充実と卒塾後の活躍の場の創出を図る事を目的として、卒塾生近況調査と卒塾生特集パンフレットを作成。

次年度塾生募集に向けたオリエンテーション（オープン講座・グループワーク体験会）も年度末に実施。

②技術経営（MOT）研修 <附属資料7参照>

（公財）科学技術交流財団との共催で10～11月に開催。（全6日間/10講義）

受講者数：49名（前年度45名）

実績：前年度アンケート結果を分析して、一部講義の入替や受講者ニーズを反映させた講義の導入や参加者間交流の場の提供等により前年度同様の好評価を得た。

当研修は既に12年を経過しており、次年課題としてカリキュラム構成や日程等の更なる見直しを図り、満足度向上に務める。

(2) 出張研修

企業の人材育成ニーズ別を層区分して対応するパンフを独自に作成して、関係先企業への訪問PRに活用。「カスタマイズ研修」を強調して訴求中。

更に、引き合い時の親身なカウンセリング対応と、既存講師が該当しない場合には、財団の人脈ネットワークをフル活用した講師リサーチを実施した。

その結果、年度後半に地元企業2社からの引き合いがあり、事後アンケートでも好評。

実績： A社（機械メーカー）8月～1月（6回）材料力学基礎 累計37名
B社（同上） 3月（1回） 乾燥剤の基礎知識 14名

(3) eラーニング講座

新規講座制作及び高額なネット広告（従来101万円/年→当年0）を控えて、賛助会企業への地道な訪問PRに注力し、結果的に前年度を上回る受講数を獲得した。

平成 28 年度受講実績 合計 67 名（前年対比+9 名） (人)

講座名	講師	リリース	H28 受講数
マイクロのための電子回路 (応用編)	西堀賢司氏 (大同大名誉教授)	2015	2
マイクロのための電子回路 (基礎編)	西堀賢司氏 (大同大名誉教授)	2014	13
振動工学の基礎	石田幸男氏 (名大名誉教授)	2014	4
流体力学 (基礎編)	鬼頭修己氏 (名工大名誉教授)	2014	11
乾燥技術の基礎Ⅱ	中村正秋氏 (名大名誉教授)	2014	9
乾燥技術の基礎Ⅰ	中村正秋氏 (名大名誉教授)	2014	25
回転機械の力学 (基礎編)	石田幸男氏 (名大名誉教授)	2013/11	3

2. 学術研究助成等事業

前年度迄の事業報告書にこの事業状況の報告記載がなかった点で内閣府より指摘があり、改めてこの事業の今後の取り扱いについて CHC 委員会 (3 月) の場で議論した。その結果、事業項目としては残すが、現在の当財団財政事情を考慮し、当面は実施を見合わせることで決議した。

◇技術移転事業 (公 3)

1. 技術移転

TLO 業務の柱である特許移転による実施許諾件数は、近年の国立大学での知財部門開設を機に、大幅に減少した状況が継続している中で、過去の契約案件の管理業務を中心に実施した。また、知財開発支援業務としての連携大学からの業務委託についても減少傾向である。

①技術移転活動実績

想定外の MTA 期間延長契約等があり、収入は前年から 7,500 千円増となった。

なお、実施許諾件数 10 件となっているが、過去の契約更新等であり新規の契約は無い。

(単位：千円)

事 項	H28 年度	計画・予算	H27 年度
実施許諾件数	10 件	10 件	8 件
成果有体物件数	2 件	5 件	4 件
技術指導件数	1 件	5 件	4 件
実施許諾等収入	19,290	—	12,005
成果有体物収入	4,973	—	3,198
技術指導収入	216	—	1,747
収入合計	24,479	20,000	16,950

< TLO 事業収益推移 >

(単位：千円)

H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
21,034	33,241	29,847	16,950	24,479

②連携大学よりの受託業務

- ・発明評価業務（発明発掘含む）
- ・市場性評価業務
- ・マーケティング業務（特許、成果有体物、データベース等）
 - ・企業とのマッチング（共同研究仲介）

（連携大学）

名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、藤田保健衛生大学、愛知工業大学等

（単位：千円）

事 項	H28 年度	予算	H27 年度
業務委託費	12,703	13,433	15,025

③広報・啓発活動 <附属資料 8 参照>

	28 年度件数	前年差	備 考
地域中核企業創出・支援事業関連	14	+3	炭素繊維
IoT 研究会関連	5	△ 2	
次世代自動車関連	2	△ 2	
交流会	1	0	
その他	6	+6	
合 計	28	+1	

II 収益事業

本研究所の所員・研究員により、企業からの研究委託に基づき、産業技術に関する研究を次のように実施した。

受託研究	28 年度完了	95 件
受託研究	29 年度以降継続	13 件
	計	108 件

（27 年度実績：完了 85 件・継続 15 件、29 年度目標件数：新規 90 件・継続 13 件）

III 法人事業

1. 定款に関する事項

本年度中における定款変更なし

2. 役員・評議員・顧問・参与に関する事項

平成 28 年度

- (1) 役 員（平成 29 年 3 月 31 日現在、理事 18 名※、監事 2 名）
- (2) 評議員（平成 29 年 3 月 31 日現在、11 名）
- (3) 顧 問（平成 29 年 3 月 31 日現在、7 名）
- (4) 参 与（平成 29 年 3 月 31 日現在、20 名）

※理事については、内藤理事長逝去により 18 名となった。

3. 会議に関する事項

(1) 理事会開催

- I. 平成 28 年 4 月 19 日：臨時理事会（書面審議）
- II. 平成 28 年 6 月 9 日：通常理事会開催
- III. 平成 28 年 6 月 24 日：臨時理事会（書面審議）
- IV. 平成 28 年 10 月 14 日：臨時理事会（書面審議）
- V. 平成 29 年 3 月 24 日：通常理事会開催

(2) 評議員会開催

- I. 平成 28 年 5 月 11 日：臨時評議員会（書面審議）
- II. 平成 28 年 6 月 24 日：定時評議員会開催

(3) 委員会開催

① 研究部企画運営委員会

- I. 平成 28 年 6 月 1 日開催
- II. 平成 29 年 2 月 21 日開催

② 中部ハイテクセンター企画運営委員会

- I. 平成 28 年 5 月 25 日開催（書面審議）
- II. 平成 29 年 3 月 2 日開催

③ TLO企画運営委員会

- I. 平成 28 年 11 月 1 日開催
- II. 平成 29 年 2 月 28 日開催

4. 賛助会員数推移

	H24 年	H25 年	H26 年	H27 年	H28 年
会員数（社）	27	27	26	25	23
会費収入（千円）	3,900	3,900	3,900	3,700	3,400

以上

平成28年度事業報告

附属資料一覧

- 1-1. 研究事業一覧
- 1-2. 上席研究員一覧
2. 研究会一覧
3. 科研費・競争的資金助成事業採択一覧
4. 産業科学フォーラム等活動記録
5. サポイン事業一覧
6. あいち環境塾実績一覧
7. MOT研修実績一覧
8. TLOイベント一覧

平成28年度研究事業一覧

(1) 本研究所の所員・研究員により産業の科学に関する基礎的研究として下記の調査研究を実施した。

	研究担当者	所 属	研 究 項 目
1	石川 孝司	所員(中部大)	打抜き板材の曲げ限界に及ぼす打抜き条件の影響
2	石田 康行	所員(中部大)	反応熱分解分析法による生体構成成分の構造キャラクタリゼーション
3	石原 一彰	所員(名大)	酸塩基複合型多機能触媒の開発
4	伊藤 敬人	所員(三重大)	2回らせん空間群を有する置換キノジメタンの固相重合に関する研究
5	伊藤 秀章	所員(名大・名誉教授)	硬質材料の製造及び金属資源の回収と再利用に関する研究
6	伊藤 義人	所員(岐阜高専)	鋼・アルミニウム合金構造物の耐久性向上に関する研究
7	今西 誠之	所員(三重大)	リチウム金属負極の電極反応機構の解明
8	入谷 英司	所員(名大)	高度な粒子・液体系分離プロセスの開発のための基盤研究
9	宇佐美勉	上席研究員(名大・名誉教授)	波形鋼板を芯材とする制震ダンパー(BRRB)の開発研究
10	梅村 章	上席研究員(名大・名誉教授)	落下実験から生まれた新しい微粒化概念の詳細検証～乱流微粒化シミュレータの構築を目指し～
11	榎田 洋一	所員(名大)	原子力エネルギー・システムのための燃料サイクルの研究
12	大久保仁	所員(愛工大)	高電圧電気絶縁技術及び電気絶縁材料に関する調査研究
13	大谷 肇	所員(名工大)	高分子材料の劣化・変性およびリサイクルプロセスに関する基礎研究
14	大野 信忠	上席研究員(名大・名誉教授)	高精度非弾性材料モデルの開発と有限要素法でのインプレメンテーション
15	小野 徹郎	所員(名工大・名誉教授)	薄板鋼板を用いた耐震要素に関する研究
16	小野木克明	所員(愛工大)	離散事象システム論に基づく離散型生産システムの制御手法の開発
17	川崎 浩司	所員(名城大)	沿岸海象評価システムに関する研究
18	川瀬 晃道	所員(名大)	テラヘルツ波と東洋医学の関係に関する検討
19	菅野 了次	所員(東工大)	イオニクスデバイスの新たな展開のための調査研究
20	菊田 浩一	所員(名大)	セラミックス製品の新規造形法の開発
21	北岡 教英	所員(徳島大)	自然で頑健な音声認識・対話システムの研究
22	木村 晃彦	所員(京大)	高温水環境中の材料強度に関する研究
23	葛 漢彬	所員(名城大)	T型溶接継手の延性き裂発生メカニズムの解明
24	香田 忍	所員(名大・名誉教授)	ソノケミストリーの基礎と応用に関する研究
25	小長谷重次	上席研究員(名大・名誉教授)	高透明高導電性複合材料の開発
26	小林 信介	所員(岐大)	旋回式クロスフローによる液中アンモニア分離に関する研究
27	近藤 一義	所員(豊田工大)	開発した高精度塑性加工法の適用研究
28	島田 俊夫	所員(名大・名誉教授)	シングルスレッド高速化アーキテクチャの研究
29	社本 英二	所員(名大)	精密機械加工および精密機械要素に関する技術開発と応用
30	末永 康仁	所員(愛工大)	視覚覚情報と位置情報を組み合わせた安全快適環境実現の研究
31	千住 智信	所員(琉球大)	垂直軸風力発電機の制御方法に関する研究
32	田川 智彦	所員(豊田高専)	次世代反応工学の体系化に関する基礎研究
33	竹下 隆晴	所員(名工大)	高電力密度電力変換器に関する研究
34	武田 一哉	所員(名大)	人間行動の信号処理方法に関する研究
35	武田 保雄	所員(三重大)	次世代用リチウム二次電池用のための新規材料の開発
36	田辺 忠顕	社会基盤技術評価支援機構	Prestress導入時の応力解析の精度向上に関する研究
37	谷本 正幸	上席研究員(名大・名誉教授)	情報化社会における技術と文化に関する調査研究
38	辻 利秀	所員(北陸先端大・名誉教授)	東京電力(株)福島第一原子力発電所1～3号機における事故進展の解析
39	辻本 哲郎	上席研究員(名大・名誉教授)	河川管理技術の体系化に関する研究
40	飛田 潤	所員(名大)	建築構造物の地震観測と地震時被災判定技術に関する研究
41	豊田 浩孝	所員(名大)	高密度マイクロ波プラズマ源の高性能化
42	長尾 雅行	所員(豊技大)	高分子絶縁材料の電気絶縁特性に関する調査研究
43	中野 環	所員(北大)	光を用いた高分子構造の制御に関する研究
44	中村 光	所員(名大)	鉄筋腐食したRC構造物のひび割れ進展と力学性能ならびに非破壊検査に関する実験的・解析的研究
45	成瀬 一郎	所員(名大)	オキシ石炭燃焼場におけるNOx生成挙動に及ぼす水蒸気添加の影響
46	新原 皓一	所員(長岡技大)	技学を基礎にした感触センサーの開発研究
47	二宮 善彦	所員(中部大)	低品位石炭の燃焼におけるPM2.5生成挙動とその低減
48	野田 利弘	所員(名大)	透水模型実験の数値シミュレーションを通じた河川堤防の浸透破壊メカニズムの解明

	研究担当者	所 属	研 究 項 目
49	長谷川正	所員(名大)	超高压下での新物質・新材料の創製と物質科学の構築
50	服部 忠	所員(名大・名誉教授)	持続可能社会のための資源循環システム
51	早川 直樹	所員(名大)	傾斜機能材料(FGM)による電力機器の高性能化に関する研究
52	匹田 政幸	所員(九工大)	電力機器・パワーモジュールにおける絶縁信頼性評価に関する研究
53	日比野高士	所員(名大)	プロトン導電体のエネルギー及び低環境負荷技術への応用
54	平井秀一郎	所員(東工大)	シリカゲル水分吸着挙動の解析
55	平澤 政廣	所員(名大)	塩化アンモニアによるInPからのIn回収
56	福田 敏男	所員(名城大)	インテリジェントロボットに関する研究
57	福和 伸夫	所員(名大)	地震災害被害軽減のための研究
58	堀 勝	所員(名大)	プラズマ科学に基づいた高精度プラズマプロセスの研究開発
59	松井 信行	所員(名工大・名誉教授)	半導体電力変換機、モータ制御系における高周波駆動技術
60	松田 仁樹	所員(名大・名誉教授)	固体残渣類の高度無害化・安定化、再資源化に関する研究
61	松村 年郎	所員(愛工大)	再生可能エネルギーの有効利用および交流・直流大電流現象に関する調査研究
62	水谷 孝	上席研究員(名大・名誉教授)	ナノカーボンデバイスの作製と特性評価に関する研究
63	水谷 法美	所員(名大)	津波防災に資するための構造物群の耐波安定性と津波減勢効果に関する研究
64	水野 幸男	所員(名工大)	確率論的手法を用いた汚損がいし連の絶縁特性評価
65	三矢 保永	上席研究員(名大・名誉教授)	ナノ潤滑膜を介した摺動二面間のすきま変動測定と変動要因の解析に関する研究
66	村瀬 洋	所員(名大)	低品質画像の認識原理とその応用に関する研究
67	森川 高行	所員(名大)	地域交通における自動運転車のあり方に関する研究
68	山下 博史	上席研究員(名大・名誉教授)	伝熱・燃焼工学に関する基礎研究
69	山本 章夫	所員(名大)	高速プラントシミュレーションモデルを用いたDynamic PRAに関する研究
70	山本 一良	所員(名芸大)	原子力の社会的受容性に関する研究
71	山本 尚	所員(中部大)	効率的有機合成法の開発
72	横水 康伸	所員(名大)	高温ガスにおける諸特性に関する研究
73	吉田 朋子	所員(阪市大)	ガンマ線を用いた水素生成に関する研究
74	吉田 寿雄	所員(京大)	環境・エネルギーのための光触媒・光触媒反応の開発
75	渡邊 豊英	所員(元名大)	学習支援と学習環境構築のための情報技術の展開

以上 75 件（報告書未提出 4件を除く）
（この他、研究費残高100万未満のもの159件）

(公財)名古屋産業科学研究所 研究部 上席研究員名簿

平成29年4月現在

	氏名	旧所属	専門	備考
1	スズオキ ヤスオ 鈴置 保雄	名大・工		研究部長・首席研究員
2	フジサワ トシロウ 藤澤 寿郎	INAX	環境工学	副研究部長
3	アサイ シンゴ 浅井 滋生	名大・工	材料	
4	イシダ ユキオ 石田 幸男	名大・工	エネルギー	
5	ウサミ ツトム 宇佐美 勉	名大・工	社会基盤	
6	ウメノ マサヨシ 梅野 正義	中部大・工	電子情報	
7	ウメムラ アキラ 梅村 章	名大・工	航空・宇宙	
8	オオサト ヒロシ 大里 齊	名工大	無機材料	
9	オオノ ノブタダ 大野 信忠	名大・工	製造技術	
10	カワシマ コウイチロウ 川嶋 紘一郎	名工大	機械工学	
11	コナガヤ シンゲジ 小長谷 重次	名大・工	ナノテク・材料	
12	コバヤシ カズキヨ 小林 一清	名大・工	バイオ	
13	スキエ エイジ 杉江 英司	JFEテクノリサーチ	製造技術	
14	スズキ ケンジ 鈴木 憲司	名大・工	環境工学	
15	タカハシ ヒデロウ 高橋 秀郎	㈱豊田中研 顧問	ナノテク・材料	
16	タケダ ミカズ 竹田 美和	名大・工	ナノテク・材料	
17	タケヤ ヒロユキ 竹谷 裕之	名大・農	農業経済学	
18	タナカ キヨアキ 田中 清明	名工大	結晶学	
19	タナカ ケイスケ 田中 啓介	名大・工	ナノテク・材料	
20	タニモト マサユキ 谷本 正幸	名大・工	情報通信	
21	ツジモト テツロウ 辻本 哲郎	名大・工	社会基盤	
22	ツバキ ジョウチロウ 椿 淳一郎	名大・工	ナノテク・材料	
23	トオル タケン 融 健	名工大	応用化学	
24	トラゾウ ケン ジ 虎澤 研示	名工大	情報通信	
25	ナカムラ マサアキ 中村 正秋	名大・工	製造技術	
26	ナガイ ヒロイチ 永井 博式	岐阜保健短期大	薬理学	
27	ナカムラ アラオ 中村 新男	名大・工	ナノテク・材料	
28	ニシボリ ケンジ 西堀 賢司	大同大・工	情報通信	
29	ニ ヲ 丹羽 幹	鳥取大・工	触媒化学	
30	ハッタ イチロウ 八田 一郎	名大・工	ナノテク・材料	
31	ハヤシ キヨヒコ 林 清比古	愛知県・環境部	環境工学	
32	ハヤシ ツトム 林 農	鳥取大	応用数理	
33	マツイ テツヤ 松井 徹哉	名大・工	社会基盤	
34	マツスマ ショウヘイ 松沼 正平	元テレコムエクスプレス	情報通信	
35	ミズタニ ウ イチロウ 水谷 宇一郎	豊田理研	材料	
36	ミズタニ タカシ 水谷 孝	名大・工	ナノテク・材料	
37	ミツヤ ヤスナガ 三矢 保永	名大・工	マイクロ	
38	ミヤオ マサル 宮尾 克	名大・情	情報通信	
39	モウリ カネオ 毛利 佳年雄	名大・工	電気工学	
40	モリ シンゲカツ 森 滋勝	名大・工	化学工学	
41	モリタ ケン 森田 健治	名大・工	原子核系	
42	ヤマシタ ヒロシ 山下 博史	名大・工	エネルギー	
43	ヤマモト タカシ 山根 隆	名大・工	蛋白質結晶学	

平成28年度 研究会一覧

番号	区分	研究会名	主査	実施期間	予算申請	幹事会承認日
1	継続	ELF磁気触媒・磁気刺激研究会	毛利 佳年雄 (上席研究員)	27. 4～29. 3	有	27.5.14
2	継続	次世代風力発電研究会	林 農 (上席研究員)	27. 4～29. 3	有	27.5.14
3	継続	人口減少社会での教育・産業システム研究会	山根 隆 (上席研究員)	27. 12～28. 11	無	27.12.8
4	新規	中部IoT研究会	森 滋勝 (上席研究員)	28. 4～29. 3	有	28.2.15

平成28年度 科研費・競争的資金助成事業採択一覧

配分機関・種目	補助金 基金別	応募課題	研究代表者	研究分担者	配分額 (単位:千 円)	年度	新規・継続別(申請機関等)・分 担者への配分額	
科学研究費助成事業(補助金及び基金助成金)・研究代表者分								
1	基盤研究(B)	補助金	新規窒素系複合多座配位子の設計と高活性不斉触媒の開発	西山 久雄	4,940	27~29	継続(名大)・分担者有	
2	基盤研究(B)	補助金	ナノ結晶組織制御した微小構造体の疲労強度設計法の開発	田中 啓介	4,680	27~29	継続(名城大)・分担者有	
3	基盤研究(B)	補助金	座屈拘束された波形鋼材を芯材とする高機能制振ダンパーの研究開発	宇佐美 勉	5,850	27~29	継続・分担者有	
4	基盤研究(B)	補助金	超広域自由視点テレビの研究	谷本 正幸	6,240	28~30	新規	
5	基盤研究(C)	基金	陸上風車および洋上風車(着床式と浮体式)の制振	石田 幸男	1,040	26~28	継続・分担者有	
6	基盤研究(C)	基金	伝統工芸「有松・鳴海絞り」における括り作業ロボットの実用化研究	西堀 賢司	1,040	26~28	継続・分担者有	
7	基盤研究(C)	基金	結合形態を越えて成り立つヒューム・ロザリー型相安定化機構の研究	水谷 宇一郎	1,170	26~28	継続	
8	基盤研究(C)	基金	運動量流束とフルード数の有界性に着目した建築物への津波津波作用外力の評価	松井 徹哉	1,040	27~29	継続	
9	基盤研究(C)	基金	結晶化ガラスを用いたミリ波通信用高Q・低誘電率低温同時焼成セラミックスの研究開発	大里 齊	1,950	28~30	新規・分担者有	
10	基盤研究(C)	基金	フェノール誘導体と導電性高分子との複合化によるフレキシブル透明導電膜材料の開発	小長谷 重次	2,730	28~30	新規・分担者有	
	計				30,680		左のうち分担者への配分額 10,270千円	
科学研究費助成事業(補助金)・研究分担者分								
①	基盤研究(B)	補助金	微細機能性凸凹パターンを付与したナノ液体膜のトライボ特性とそのメカニズム	名大・情報科学 張 賀東	三矢 保永	260	26~28	継続(名大)
②	基盤研究(B)	補助金	場の制御によるケミカルフリーな微粒子分離技術の体系化と高度分離プロセスへの応用	法大・生命科学 部・森 隆昌	椿 淳一郎	325	27~29	継続(法政大)
	計				585			
合計					31,265			

平成 28 年度 産業科学フォーラム等活動記録

第 30 回フォーラム

日時	7 月 15 日
場所	名古屋大学 VBL 棟 4F セミナー室
参加者	17 名
趣旨	繰返し塑性モデルと均質化法に関する主要な研究成果と社会貢献の概略について
講師	大野 信忠（上席研究員）
テーマ	「繰返し塑性モデルと均質化法：基礎的研究から社会貢献へ」

第 31 回フォーラム

日時	12 月 14 日
場所	名古屋大学 VBL 棟 4F セミナー室
参加者	16 名
趣旨	物質の大きさを「ナノ」、時間を「フェムト」という単位での、テクノロジーの歩みと、カーボンナノチューブを中心とした最近の結果について紹介する
講師	中村 新男（上席研究員）
テーマ	「ナノとフェムトの世界で観る物質の光応答」

産業科学フォーラム 2016 （年次・一般向け）

日時	9 月 13 日
場所	名古屋大学 VBL 棟 3F ベンチャーホール
参加者	35 名
趣旨	エネルギーをめぐる動向
講演 1	森 滋勝（上席研究員） 「わが国のエネルギーとバイオマス」
講演 2	森田 健治（上席研究員） 「MeV 重イオン加速器を用いた固体 Li イオン電池の研究」
講演 3	丹羽 幹（上席研究員） 「燃料電池触媒、あれこれ」

平成 28 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）詳細

3 件実施

<p>1</p>	<p>研究テーマ コンポジット成形を高度化させた新たな工法開発の確立と、多層構造プラスチックの素材開発及び用途開発（H27.10～H30.3）</p> <hr/> <p>研究内容 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトリーダー：(株)エムジーモールド／名古屋市 ・共同研究機関：東レペフ加工品(株)（滋賀県湖南市） ・アドバイザー：ダイハツ工業(株)、(株)イノアックコーポレーション、豊田合成(株)、カルソニックカンセイ(株)、タイガースポリマー(株)、(株)大誠樹脂、栗原産業(株)、暁産業(株)、名古屋市工業研究所、山宗(株)、坂本工業、TOTO バスクリエイト(株) <p>2枚の樹脂シートから中空体を作るコンポジット成形の高度化に挑戦する。今回の研究開発では複合素材を作った断熱・吸音等の高機能中空体は勿論、多層真空成形品の一体成形による工程削減、コア材のインサート成形による新しい高剛性を兼ね備えた機能品、空気断熱層を設けた新しい製品の一体成形への取り組み等、今までのコンポジット成形とは全く異なる視点で新しい技術・用途開発に取り組む。</p> </p>
<p>2</p>	<p>研究テーマ 複雑形状難めっき材料への六価クロムフリーメタライジング法の開発（H27.10～H30.3）</p> <hr/> <p>研究内容 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトリーダー：東洋理工(株)／安城市 ・共同研究機関：(株)いおう化学研究所、岩手大学、名古屋市工業研究所 ・アドバイザー：アルプス電気(株)、トヨタ自動車(株)、 <p>携帯電話やパーソナルコンピュータ、各種タブレット端末に代表される電子機器の軽薄短小化の為には、それら電子機器の電子基板等のコア部品について、性能を維持しつつ構造や仕様の最適化を行う必要がある。本事業ではトリアジンチオールによる分子接着接合等を技術シーズとした、六価クロムフリーの環境調和型めっき技術を確立し難めっき高機能材料の電子機器コア部品に応用する事で、電子機器の高性能化と軽薄短小化を両立する。</p> </p>
<p>3</p>	<p>研究テーマ Steel Heater 性能向上のための新規絶縁層形成技術の開発（H28.10～H31.3）</p> <hr/> <p>研究内容 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトリーダー：(株)美鈴工業／小牧市 ・共同研究機関：産業技術総合研究所 ・アドバイザー：(株)ハレ・コーポレーション <p>プリンター印刷速度向上や半導体製造装置高性能化のため、これらの川下製造業者から次世代商品に必要なヒーターの特性向上が強く要望されている。従来製品は発熱体と金属基材との絶縁をとる多層ガラス層が100μm以上と厚く熱伝導が悪いためヒーターの熱応答や均一加熱特性が問題であった。本提案では絶縁層を産総研で開発されたAD法による高耐圧セラミック層に置換し薄くすることで、均熱性や熱伝導特性向上とコスト削減を図る。</p> </p>

あいち環境塾 講師・テーマ (平成 28 年度実績)

講 師	テーマ
基礎講座 I 愛知県環境部環境政策課 課長補佐 大谷 真弓 氏	愛知の環境政策
基礎講座 II ① 人間環境大学 環境教育センター 講師 藤井 芳一 氏	環境
② 名古屋大学 未来材料・システム研究所 システム創成部門 教授 加藤 丈佳 氏	エネルギー
③ 相模女子大学学芸学部 教授 九里 徳康 氏	ファシリテーション
(公財) 廃棄物・3R 研究財団 理事長 岡山大学 名誉教授 田中 勝 氏	廃棄物処理の課題と展望
東京工業大学 特命教授 柏木 孝夫 氏	日本のエネルギー戦略と今後
横浜国立大学 名誉教授 浦野 紘平 氏	化学物質の有害性およびリスクと その管理
南山大学経営学部経営学科 教授 川北 眞紀子 氏	戦略 P R を通じて環境への取り組 みを考える
東北大学大学院生命科学研究所 教授 中静 透 氏	生物多様性と生態系サービス
名古屋大学大学院環境学研究科 教授 高村 ゆかり 氏	国際的な環境問題にどう対処する か
神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 教授 尾崎 弘之 氏	環境分野の新規事業 (ベンチャー) を創造する
(株) 中日新聞社 論説委員 飯尾 歩 氏	環境ってなんだろう? - メディアか ら
◇ オープン講座 名古屋大学大学院工学研究科 准教授 小林 敬幸 氏 名古屋大学大学院工学研究科 助教 窪田 光宏 氏 相模女子大学学芸学部 教授 九里 徳泰 氏	理念説明 概要説明 講演 「進化する環境・サステナビリティ 経営 - C S R から E S G 評 価の時代へ」 グループワーク体験

技術経営 (MOT) 研修 講師・テーマ一覧 (平成 28 年度実績)

講 師	テーマ
(株) テクノ・インテグレーション 代表取締役 出川 通 氏	技術者・経営者のための最新 MOT (技術経営) の考え方
名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 山田 基成 氏	経営戦略と 技術イノベーション
富士フイルム株式会社 R & D 総括本部 技術戦略部 中村 善貞 氏	新規事業の創出 富士フイルム第二の創業と化粧品事業の立ち上げ
東京工業大学環境・社会理工学院 教授 田辺 孝二氏	戦略的な産官学連携の活用
セレンディップ・コンサルティング (株) 代表取締役 高村 徳康 氏	ファイナンス戦略・ワーク スタディ
キャビネ・プラスロー特許商標事務所 日本国弁理士 竹下 敦也 氏	事業戦略・海外戦略と知的財産
名古屋工業大学大学院 経済学研究科 客員教授 濱田 恵美子 氏	イノベーションマネジメント (柔軟な修正が実現性を高める)
名古屋商科大学大学院 マネジメント研究科 客員教授 伊佐田 文彦 氏	MOT のための戦略的思考・ ケーススタディ
名古屋大学大学院 国際開発研究科 教授 西村 眞 氏	R&D における技術開発とビジネスモデルについて
(株) 東レ経営研究所 MOT チーフディレクター 東京農工大学大学院 工学府 産業技術専攻 ゲスト講師 宮木 宏尚 氏	技術開発と事業戦略ケーススタディ ＜グループワーク＞ ～東レ炭素繊維材”トレカ”の技術開発と事業戦略～

平成28年度 中部TLOイベント一覧

開催期日	区分	名称	開催場所
○ 地域中核企業創出・支援事業関連			
平成28年6月27日	講演会等	「トヨタ自動車シーズ説明会」(第2回)	豊田市 トヨタ自動車(株) 事務本館
平成28年9月26日		CFRPの事業化事例に関する講演及び先進形成技術見学会	白山市 金沢工業大学
平成28年10月11日～12日		コンポジットハイウェイ コンベンション 2016	岐阜市 長良川国際会議場
平成28年10月31日		CFRPの事業化事例に関する講演及び先進形成技術見学会	埼玉県入間郡 (株)UCHIDA
平成29年2月7日		セルロースナノファイバー市場開発セミナー	名古屋市 名古屋市工業研究所
平成29年2月24日		「2020年を目指した炭素繊維複合材料のプロジェクトテーマ研究会」(第1回)	名古屋市 プライムセントラルタワー
平成29年3月6日		「2020年を目指した炭素繊維複合材料のプロジェクトテーマ研究会」(第2回)	名古屋市 プライムセントラルタワー
平成29年3月16日		セルロースナノファイバー実用化セミナー	金沢市 TKP金沢ビジネスセンター
平成29年3月21日		「2020年を目指した炭素繊維複合材料のプロジェクトテーマ研究会」(第3回)	名古屋市 プライムセントラルタワー
平成28年9月27日	展示会	炭素繊維関連事業創出フォーラム 2016	松山市 愛媛テクノホール
平成28年10月6日		FCCセミナー	福井市 福井県工業技術センター
平成28年11月16日～18日		「第6回次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2016」	名古屋市 吹上ホール
平成28年12月8日～10日		エコプロ2016 ナノセルロース展	東京都 東京ビックサイト
平成29年1月18日～20日		オートモーティブワールド 2017/第7回クルマの軽量化 技術展	東京都 東京ビックサイト
○ IoT研究会関連			
平成28年4月26日	講演会等	「中部TLO IoT研究会」(第1回)	名古屋市 名古屋大学
平成28年6月21日		「中部TLO IoT研究会」(第2回) スマート工場見学会	豊田市 丸和電子化学(株)
平成28年9月26日		「中部TLO IoT研究会」(第3回)	名古屋市 名古屋大学
平成28年11月30日		「中部TLO IoT研究会」(第4回)	名古屋市 名古屋大学
平成29年2月16日		「中部TLO IoT研究会」(第5回)	名古屋市 名古屋大学
○ 次世代自動車関連			
平成28年7月9日	講演会等	次世代自動車公開シンポジウム(第24回)	名古屋市 名古屋大学
平成28年11月21日		次世代自動車公開シンポジウム(第25回)	名古屋市 名古屋大学
○ 会員企業交流会			
平成28年8月3日	講演	中部TLO会員企業交流会	名古屋市 名古屋大学
○ その他			
平成28年9月2日	展示会	名大テクノフェア 2016	名古屋市 名古屋大学
平成28年10月13日～14日		BIO JAPAN 2016	横浜市 パシフィコ横浜
平成28年11月2日		名工大テクノフェア 2016	名古屋市 名古屋工業大学
平成28年11月18日		愛工大テクノフェア 2016	豊田市 愛知工業大学
平成28年11月29日		第10回 産学官連携交流会(大府市)	大府市 市役所地下多目的ホール
平成28年12月13日		第11回 とやまナノテククラスター講演会	富山市 富山県民会館